

お見事！金銀

奥州市内の職業訓練生3人

さらなる研さん誓う

県若年者技能競技会

昨年11月に行われた県若年者技能競技会で、いずれも江刺高等職業訓練校の菊地昭宏さん(34)〔有菊地水道〕が配管科1年生の部で金賞、斉藤駿貴さん(21)〔株

発協会主催で、県内の職能開発施設で学ぶ訓練生の技能修得意欲やレベルアップが狙い。矢巾町で行われた今大会には、県内17訓練校から86人が出場した。

配管科の部は、素材の異なる配管をつなぐ競技で、

完成品の精密さや外観のきれいさなどが評価の対象。菊地さんは「練習では寸法

通りに作れず苦労した。技術力の維持と向上に努め、

業務に生かしたい」、斉藤さんは「バランスが取れないと見栄えが悪く、練習では10個以上制作した。来年は金賞を狙っていきたい」とそれぞれ意気込みを語った。

木造建築科は、複数の部材を組み合わせる技能を競う内容で、部材同士の高さを合わせ、隙間ができないように作業するなど、繊細な技術が求められる。千葉



県若年者技能競技会で入賞した(左から) 斉藤駿貴さん、菊地昭宏さん、千葉大地さん

さんは「今回は銀賞だったが、わずかな差で金賞を逃したと思っている。これが

らも日々の作業に心を込め、技術を高めたい」と誓いを新たにしていた。

倉成市長は「仕事の自信につながる。自分たちの技術が生かされていると実感できるよう、これからも日々研さんを重ねてほしい」とエールを送った。

同競技会は県職業能力開